

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所 津和野土木事業所	氏名	板持 真佐雄
派遣先 団体名	左鐙公民館（左鐙：人口約300人、120戸、高齢化率50%弱） データは左鐙公民館のHPより(http://www.sun-net.jp/~sabumi/)		

① 研修の日時

- I. 6月23日（土）、24日（日） 2日間
 II. 8月2日（木）～5日（日） 4日間
 III. 9月15日（土）、16日（日） 2日間
 IV. 11月24日（土）、25日（日） 2日間

計10日間



② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。）

I. 「蛍交流会」

■概要

8月の宿泊体験の打合せを兼ねた地元スタッフとの交流会。

昼に宿泊体験の打合せをし、夜は公民館前の広場で地域の方々も集まっての交流会、その後山間部へ移動してホタル観賞を行った。

（町内外から約50名の参加）

■研修内容

次回の宿泊体験の打ち合わせ
 ホタル観賞の際の子ども達の引率



（交流会の様子）

II. 「夏休み左鐙宿泊体験」

■概要

町内外、県内外から子ども達を募集し、2泊3日で様々な体験をしてもらう。（今年で6回目）

〔ヤマメ掴み取り、川遊び、農場体験、ドラム缶風呂、キャンプファイヤー、テント宿泊など〕

■研修内容

前日準備、イベント期間中の班のサブリーダー



（宿泊体験 最終日の集合写真）

Ⅲ.「左鏡運動会」

■概要

地区を3チームにわけた運動会。地区民だけでなく小学校の先生や町外からの参加者もおられた。

■研修内容

会場準備、用具係、選手



(運動会後の集合写真)

Ⅳ.「左鏡公民館祭り」

■概要

日頃の活動成果の発表の場として、午前中は小学生の学習発表、午後には地域の活動サークルによる芸能発表や神楽、野菜の品評・即売会が催された。

■研修内容

会場準備、来場者数調査



(小学生によるミュージカルの様子)

(その他)

・「さぶみ牧童探検隊」(公民館事業ではない)

■概要

毎月1回、左鏡の京村牧場を主会場に、子ども達に牛の世話や農作業、自然の遊びを体験してもらうイベント。この農業体験も、左鏡だけでなく町内外多くの子ども達が参加している。

■参加内容

子ども達の引率

(↓毎月発行される活動便り)



③ 研修の感想

子ども不足への危機意識、そして地域への誇りを持つ！

現在全校生徒6名の左鐙小学校も再来年には今の5年生3人が卒業し、小学校が存続できるかわからないとのこと。しかし、ただ廃校となることを危惧するのではなく、「(左鐙の)この環境、この地域、このつながりの中での子ども達の成長に価値がある」として、**住民が地域に誇りを持っている**ことが強く感じられた。



地域活動は子どもが中心！ ※あくまで板持の主観による感想

(将来のためには、若い人を呼び込むことが不可欠。地域で子どもを育てる雰囲気。)

「子どもを呼び込む取り組み」

- ・年間を通じた多数のイベント
- ・情報発信 (HP、広報紙、手作りマップ)
- ・定住案内 (UI ターンの相談会、空き家の提供)

「子どもを留まらせる取り組み」

- ・地域の方々との交流 (教える、遊ぶ、注意する)
- ・「多数のイベント」による他の地域の子ども達との交流
- ・地域に自信と誇りを持ってもらう (子ども神楽、自主制作映画など)



(全国子ども神楽サミットの様子)



(道の駅での定期公演)



(自主制作映画の撮影の様子)



(小学生による銭太鼓の披露)

こども達の地元愛

左鐙の小中学生は、少人数ながらも、生き生きとした笑顔で活動している。

「大人になっても左鐙で暮らす。」これは、ある左鐙の小中学生の言葉だが、この子に限らず、こども達みんなが「左鐙が好き」ということが、一緒に活動していると、とても伝わってきた。また、中学生達も今度は大人に交じってイベントの手伝いを行うようになり、中学生自身の社会学習・地域貢献の場、そして小学生のお手本として率先して活動する姿に感心させられた。

地域の方に行政を身近に感じてもらう

「この前、〇〇で見たよ、ちゃんと仕事しとるんじゃね」

「あの場所は、よく石が落ちて危ないんじゃが、なんとかならんだろうか」

「へえー、土木はそんな仕事もしとるんじゃね」

研修を通して知り合った方々と、普段の業務の話をすることもあり、職員が地域に出ることは、一方で、地域の方に、行政を身近に感じてもらう、行政のことをもっと知ってもらう、そんな機会(チャンス)でもあると改めて感じた。こうやって地域と相互理解を深めていけたことは非常に意義のある研修だったと思う。

最後になりましたが…

温かく迎えていただいた左鐙のみなさん、ありがとうございました！

そして、これからもよろしくお願いします！！

④ その他特記事項

・研修期間の5日間～10日間というのは本当に短いので、いかに早く相手方と信頼関係(気軽に話せる関係)を築けるかが大切だと思います。研修の期間外やプライベートでも相手方に足を運んで接することで、研修と違った面や本音が聞け、研修終了後も派遣先と関係を持ち続けていくことができると思っています。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。